

# シャロンの花だより ほっとニュース

23期 主題：新しい歌を 主に向かって歌おう

••• キリストの愛に結ばれて 協力しあい支えあう •••  
 「いかに幸いなことか、主に信頼をおく人」詩編 40:5a

Vol.1

## 熊本地震：九州地区の兄弟姉妹と共に



**熊** 本地震(くまもとじしん)は、2016年(平成28年)4月14日21時26分に震度7を記録してその後も熊本県と大分県で相次ぎ発生している地震です。

気象庁震度階級では最も大きい震度7を観測する地震が4月14日夜(前記時刻)および4月16日未明に発生したほか、最大震度6強の地震が2回、6弱の地震が3回起きました。日本国内の震度7の観測事例としては、4例目(九州地方では初)に当たるそうです。

その二日後の16日、東教区女性会はかねてからの計画の基に、聖パウロ教会に於いて春の会長会＆女性の集いを開催いたしました。開会礼拝のメッセージと賛美に続く祈りの中で、私たちは有事の時に、想像だにしないことへの、人間の無力さを痛感しつつ祈りました。礼拝では小泉嗣牧師の奨励から「私たちは祈ること、祈り続けることしかできない。主よ、その力を、思いをお与えください」と。

あの時から3ヶ月が経ちました。この間に現地では災害対策本部が立ち上げられ、様々な救援の手が拡がっています。

しかし、依然として続く余震に加えて、局地的な豪雨による二次災害。仮設住宅建設も天候不順や諸般の事情により遅れを来たしている現状があります。心的外傷後ストレスや、「軒先避難」による不眠、関節痛などの悪化を訴える心身共に疲弊した被災者の増加。<sup>\*1</sup>

私たちはニュースや関係機関からのリポートに接し、どのように九州地区の兄弟姉妹へ寄り添うことが出来るでしょうか。「頑張らずに踏ん張ろう。力尽きてしまわぬように。」と祈りながら、「まず出来ることを、出来るところから、出来るだけ」…被災者と支えたい者との共通したこの思い。

女性会連盟の呼びかけで各教区女性会は、九州教区女性会の兄弟姉妹・子どもたちへ「心で寄り添う第一歩から、形を伴う寄り添いの励ましを」と、まずは期限を区切り僅かでもお献げできたらと連帯しています。

皆さまのご理解とご協力をお願いできましたら幸いです。同時に、東日本で被災された兄弟姉妹の5年と4ヶ月の時を覚えます。

これからも様々な形で共に思い、願い、祈り、支え合い、繋がっていかれたらと祈りつつ。 主にあって。



\*3

\*1 軒先避難:避難所を出て帰宅しても建物が被害を受け住めず(建物の危険性を計る応急危険度判定で自宅が「要注意」以上と判定)に、敷地内にある小屋やテントなどの「軒先」で避難生活を送る状況のこと。熊本県内で被災した住宅は、現時点で14万棟以上に上ること。修理のめどさえ立たず、いつ自宅の中に戻れるかも分からない状況が続いている。仕事・家族の状況で避難所にいられない場合も多い。  
 (NHK NEWS WEB)

\*2 九州教区女性会支援へ募金くださる場合は直接、各個教会女性会から女性会連盟事務局宛へお願ひいたします。

\*3 ルター君ストラップ:九州教区が宗教改革500年へ向け300円でお分けしています。純利益(材料費以外)は今回の地震被害救援に用いられます。ご希望は直接九州教区または、東教区女性会(八木宛:本紙P4記載アドレス)へお問合せください。

## 新しい器と新しいブドウ酒 社会福祉法人千葉ベタニヤホーム理事長：中島 康文

… 祝福の光降る中で～竣工式・感謝礼拝 …

**今** 年2月末、法人の念願でありました「国府台母子ホーム・児童家庭支援センターこうのだい」が竣工しました。保育園を含めた国府台地区の建築計画に取り掛かってから9年を経ての完成でした。

改築前の母子ホームは1970年に建てられ、共用スペースが2階建て、住居スペースは3階建てでデザイン性の高い建物でした。あれから40年を経て、建物の老朽化、入所理由の変化(生活困窮からDV被害へ)、支援対象の拡大、そして生活環境の相違等により改築は必然という状況にありましたので、新しい建物に備えられた機能により、



神様の働きと恵みが、私たちの間に広がりますように



竣工を祝う列席者と共に、初めての感謝の礼拝を主に挙げました(4月25日)

## “第2回会長会＆女性の集い”に参加して ●●●●●

千葉教会：濱田 良枝

**秋** の一日、主のお守りのもと、10月17日大森教会にて“会長会＆女性のつどい”が開催されました。ドキュメンタリー映画「隣の人」を鑑賞。その後、子どもたちは今、どうしているのか、そして私たちは？をテーマにディスカッションする自由な場が与えられました。

映画は、児童養護施設「光の子どもの家」の生活をそのまま映したものでした。事情があって家族を信頼できないことから、隣に人を持たない、そんな子どもたちと生活を共にする働きが「隣の人」。担当が変わり涙する場面もありましたが、ひとりひとりに愛情を注いで見捨てないです。教会にも一緒に行くとのこと。

辛さは、子どもが直面するひとつひとつの出来事に愛情をもらって完了させていければ、残らないそうです。

小さな体で孤独と戦い、ぬくもりを求めながら成長していく様子に、神様が愛してくださっていることに本当に早く気付いてほしいですね、と話しました。

映画を観ての感想は、自分ははたして誰かの「隣の人」となっているだろうか考えさせられました。教会ではオルガ

ンはなんとかご奉仕できていると思われるが、教会学校での取り組みはあまり真剣ではないかもしれない。日常においても大事なことを放っていたような感じがします。距離を置いて生活していたのではないか、そんな気持ちになりました。

つい先日まで年老いた義母を抱えておりました。離れて暮らす実父も同じ状態おりましたが、どちらにもどれだけ寄り添えたか今更ながら疑問に感じています。

集まった各教会員の方々から少しの時間でしたがお話を伺うことができ、神様につながる私たちひとりひとりの役目を考えるきっかけをくださるために整えられた時間であったように思いました。千葉教会では何ができるかを考えたいものです。

閉会礼拝にて祈りを合わせ、それぞれの心に何らかの作用がもたらされたことを思い感謝し、帰路につきました。主に仕えるたくさんの兄弟姉妹がおられることを覚えて、祈りつつ歩んでいきたいと思います。

## NCC世界祈祷日礼拝にて!

キューバからのメッセージ

「子どもを受け入れなさい、そしてわたしをも」

\*Message From Republica de Cuba  
"Receive children. Receive me"



キューバの女性と子ども達を思い、祈り繋がる賛美(3月4日)



会場:常盤台バプテスト教会は沈丁花の香りに包まれて



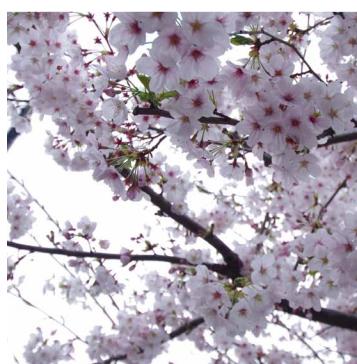
あなたの隣り人は誰ですか。あなたは誰の隣り人ですか。  
江藤直純学長から新入生へ(列席者・筆者へも)の問い合わせです。

## ルーテル学院大学・神学校卒業式 / 入学式

おめでとうございます!!

主の豊かな祝福とお導きを

\*~新たな旅立ち(3月8日)&新たな出会い(4月1日)~\*



## 東教区女性会とボランティアとの出会い

羽村教会:土井 菜穂子

**毎年**行われています、東京老人ホームへの訪問、昨年は11月21日(土曜日)の午後約40名の参加があり、和やかな時を過ごしました。高橋睦園長をはじめ職員の皆様の温かいご指導に感謝です。何かお手伝いできたらという思いで参加しました。この度、職員が、日々の仕事に使う小物作りをしました。様々に工夫して、日々の業務に携わられている事を思いました。その後、ホームの方と一緒に、アメリカカントリーの歌と踊りによる演技を見たり参加したりしました。

東京老人ホームと東教区女性会との結びつきが密接になった頃の事を、今回原稿の依頼がありましたので、少しまとめておく事にしました。東京老人ホームが1995年頃、現在地に新しく建物を建てる時、当時の日高登園長が、今では当たり前の考えですが、その時代では画期的で、日本の福祉を新しい概念に舵を取る事となった特別養護老人ホーム全室個室化という事を行いました。それまでは、福祉には、救済という意味合いが強く、この計画も、行政においては、なかなか理解してもらえず、日高登園長は、大変に苦労されたという事です。全室個室化という事は、建築に於いても、管理に於いても経費が掛かります。職員の数も、多く必要と

なります。そのような時、女性会(当時は婦人会連盟)に、ボランティアとして参加して欲しいとお誘いを受けました。この件は、東教区婦人会として、人数的にも、持続して取り組むには、お受けする事は難しいと思いました。東京老人ホームが教会の働きとして始められ、私達は教会の婦人会であることを思うと、お断りする事の難しさも覚えました。けれども、教区の牧師や、保谷教会の方々の積極的な協力が少しずつ構築されて来て、この活動も20年続いています。

東教区の女性会の働きは、甲信の方々も深く受け留められ、理髪の為に参加してくださった方もいました。ボランティアという意味もよく理解していない時でした。阪神淡路大震災、今から16年前を契機に、この言葉も私達の意識の中に入ってきたました。東京老人ホームが掲げた高い理想を、様々な思いで受け留め、又、私達も日々の歩みを意味ある事にして行く事を学びました。東京老人ホームが、百年になろうとしています。今私は、このホームを利用された方、職員の方、ボランティアの方がイエス様のお働きに加えられた事を深く受け留めたいと思っています。

## \*感謝とご報告\*



♥3月21日(月)開催:第53回東教区定期総会-東京教会でのコーヒーショップ収益から費用を引いた利益59,513円と、献金5,000円の計64,513円を感謝と共に神学校支援としてお献げしました。

♥5月3日(月)~5日(水)開催:第27回全国定期総会-東京教会でのコーヒーショップ利益92,017円と4月16日(土)開催:教区女性会“会長会＆女性の集い”-聖パウロ教会での席上献金79,100円を合わせた計171,117円を熊本地震支援金としてお献げしました。

みなさまの尊いご理解とご協力に心より感謝いたします。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

## ● これからの予定・ご案内

## ● 第18回ルーテルこどもキャンプ

～平和と 愛と、ヒロシマと～

日時：8月8日(月)～10日(水)

会場：日本福音ルーテル広島教会 広島市中区鶴見町2-12

Tel 082-241-3695

対象：小学校5、6年生

主題：「来んさい ヒロシマ Peace じゃけん！」

中西 久氏（カトリック松戸教会員）

聖句：「平和の福音を告げる準備を履物としなさい」

エフェソの信徒への手紙 6章 15節

\* 詳細は日本福音ルーテル教会のHPより

「次世代育成」をクリック、TNGの頁をご覧ください。

## ● 9月22日(祝・木)一日神学校ミニショップ

一日神学校で販売品の制作・献品のご協力大募集中です！

会場：ルーテル学院大学ブラウンホール1階ロビー

販売品：ご自由に手作りされた小物雑貨類

例：アクリルたわし、クリスマスオーナメント、アクセサリーなど  
(縦10×横10×高10cm以内)

送付先：8月23日(火)～31日(水)迄に東京教会気付、

担当：保坂和子までお送りください。

日本福音ルーテル東京教会 TEL:-03-3209-5702

〒169-0072 東京都新宿区大久保1-14-14

\*月曜日は教会がお休みなのでご留意ください。

問合せ：詳細、他の販売希望についてはご連絡ください。

担当：八木久美 Mail : e-kmy@tenabo.com

Fax : 03-5991-1812

## ..... 編・集・後・記 .....

梅雨末期に大雨のニュース続き、熊本地震で被災された方々のことが心配です。今回、この時期にほっとニュースを皆様にお届けできることを幸いに思います。(K.H.)

日本列島の九州と東日本、地震や豪雨にさらされ続ける兄弟姉妹を思い、主の守りと慰めに、隣る人たらんと我らの祈りが僅かでも力と成りますよう祈りつつ。(K.Y.)

## ● いくくしみ研修会

ディアコニアに生きた女性たち～聖書と歴史に見るディアコニア～

日時：9月16日(金) 13:30～

会場：日本福音ルーテル東京教会 1階

講師：ヨル・ノールストッケ博士

(ノルウェー・ディアコニンアンメ大学元総長)

\*ディアコニア研究・教育・実践の第一人者

\*通訳は江藤直純ルーテル学院大学学長がご奉仕くださいます。

主催：いくくしみ関東委員会

石飛佐久子(JELC・稔台) 田島しげ子(NRK・大宮シオン)

男性大歓迎です！質問も大歓迎です！

## ● 第4回 東教区女性会 “女性の集い”

～介護される側の実際と意義～について

日時：10月15日(土) 10:00～15:00

会場：日本福音ルーテル東京教会

開会礼拝：関野和寛牧師(東京教会)

第2部：講演

講師：高橋睦東京老人ホーム施設統括長

伊藤佐奈牧師(予定)

\*男性・若者どなたも大歓迎です！

## ● ACWC一日研修会

「キリストに結ばれて～今や、恵みの時、今こそ、救いの日～

日時：11月11日(金) 10:30～15:00

会場：日本基督教団 富士見町教会

聖書研究：金 必順師(在日大韓基督教会)

発題：日高龍子師(日本バプテスト連盟 平岡ジョイフルチャペル)

主催：ACWC日本委員会

問合せ：田島奈緒美(雪ヶ谷教会)までご連絡ください。

Tel&Fax : 03-3720-5525



東教区女性会会報 ほっとニュース第1号(23期第1号) 2016年7月15日

発行人：日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会

発行人／編集：八木 久美 編集：保坂 和子

